Revival Mission News
RMN
2023 11 November

◉発行者／リバイバルミッション
◉〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
◉TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220 0120-291-372
◉office@j-revival.com◉http://www.j-revival.com

熱心な祈り

「こうしてペテロは牢に閉じ込められていた。教会は彼のために、神に熱心に祈り続けていた。」使徒の働き 12章5節

甲子園リバイバルミッションから30年が経ちました。ここ数ヶ月のニュース誌でのインタビュー記事を読ませていただき、思い起こすのはいつもそこにはリバイバルを熱く求める多くの祈りがあったという事でした。

当時20歳だった若輩者の私もスタッフとして参加させていただきました。実際に関わる中で、確かに甲子園ミッションから始まったリバイバルミッションの働きは祈りなくして進むことの出来ない働きだといつも感じていました。

全国の皆さんと祈るPray for Revival集会はコロナ前からインターネット通して行われていたため、対面で集まれなくなった難しい状況にあっても継続して行うことができました。今も毎月、全国の祈りの勇士の皆さんと一緒に様々な祈りを主の前に捧げています。Go To Missionの集会も、このような祈りがあって支えられてきました。

使徒12章には初代教会への迫害の出来事が記されています。ヘロデ王を通してヨハネの兄弟のヤコブが殉教し、続いてペテロが投獄されてしまいました。（12章1～4節）リーダー的存在が次々と奪われ、絶望と思うような状況にありましたが、弟子たち（教会）は諦めることなく神に熱心に祈り続けました。

その結果、彼らの祈りと願い以上ともいうべき信じられない出来事が起こったのです。（12章7～11節）祈りこそが私たちに与えられた最大の武器であり特権です。

教会の始まりも「祈り」からでした。約束の助け主を待ち望む熱心な祈り。また教会は「祈りの家」とも呼ばれます。祈りを通して、教会に神の御心が現されるのです。

私たちも目の前がどのような状況であったとしても、諦めることなく祈り続けましょう。敵の手に捕らえられている愛する人々が解放され、主のものとなるために。祈りを聞いて下さる主は、最善をもって私たちの祈りに応えてくださいます。

グレイスライフチャーチ牧師
サーバントチーム
田中 進
Susumu Tanaka

全日本リバイバル甲子園ミッション
30周年特別企画

対談

岐阜純福音教会主任牧師　リバイバルミッション顧問

小山健師×滝元順師

小山健師（以下敬称略）／甲子園リバイバルミッションから30周年の記念企画で、対談をこれまで3回させていただきました。今回、第4回目ということで、滝元順先生と対談をさせていただくことになりました。楽しみにしています。今日は宜しくお願い致します。

滝元順師（以下敬称略）／いつもリバイバルミッションのためにお祈りいただき、心から感謝致します。今年は甲子園ミッション後30年ということで、もう一度仕切り直して、日本のリバイバルのために立ち上がり、頑張りたいと願っています。こちらこそ、よろしくお願いいたします。

小山／甲子園リバイバルミッションからもう30年。あっという間だなと思いますね。そして第1回の対談の時に、下條先生が約30年間祈られた中で、甲子園リバイバルミッションがあり、それから30年。今年は節目の年ですが、今日は甲子園ミッションの時の霊的戦いの祈りについてもお聞きしたいなと思っています。甲子園ミッションの準備が進んでいった時に、すごいプレッシャーがあったのではないかと思いますが、県民の森での祈祷会で先生自身が聖霊に触れられ、変えられたという事を伺ったのですが、その辺りをお話し下さい。

滝元／あの時はちょうど甲子園ミッションが具体化して活動が始まったころでした。その一環で、1992年2月、愛知県民の森で、韓国から李浩文先生を講師に招き聖会が持たれていました。その時のメッセージで、韓国のリバイバルは激しく聖霊が注がれ、そこから始まったと聞いて、一同心燃やされました。その聖会の最中、特にミッションで働くスタッフたちが聖霊に満たされるようにと、聖霊を求めて徹夜祈祷会をやろうということになりました。毎晩、聖会後、山に入って祈りました。最初は多く参加しましたが、最終日の祈り会は、皆、疲れ切って、たった8名しか来ませんでした。私は祈祷会のリーダーで、「みんな疲れているから、30分ぐらい祈って解散するのがいいだろう」と考えながら、山に行ったんですね。仕切りもなく、風がはいって来るような小屋の中で、誰も声も出さずに祈っていました。しかし30分ぐらい祈ったころでしたが、広場の方から何か音が聞こえ始めたんです。時々、上空を飛行機が通過するので、「飛行機だな…」と思っていました。でも、音がなかなか過ぎ去らずに、かえって、近づいてくるような感じがしました。それにつれて祈りが盛り上がって来ました。私は内心、腹が立って、「帰ろうとしているのに、なぜ、声を出して祈り始めるんだよ…」みたいに思っていました。そうしたら、小屋の中に、その響きがどん!と入ってきた感じがしました。私たち8人は、丸く輪になって堅いコンクリートの上に立って祈っていました。すると突然、一人が激しく倒れて、動かなくなったんです。私はその人が心臓麻痺か何かを起こしたと思って、あわてました。それでも他の人達はお構いなく、激しく祈っていました。しばらくしたら倒れた人の手が動いて、右の人の足にちょっと触れました。すると、並びの3･4人が同じように倒れたんですよ。小屋の中に激しい渦があるような感じで、これは絶対に祈りの答えとして、何かが起こったと感じました。主が来てくださった!という感覚でした。でも「リバイバル」って、期待して祈っている時はいいのですが、本当に始まると逃げ出すってよく聞いていたのですが、まさしくそうでした。私がその時、「この場から逃げるぞ!」と言って、みんなを小屋から連れ出して、新城教会まで逃げ帰りました。それは夜中の1時か2時頃の出来事でした。そんなことが起こったので、祈祷会に参加していなかったスタッフたちを真夜中に呼び出して、もう一度祈り始めたら、教会でも同じことが起こりました。私は家で寝ていた家内を起こして、教会に連れて行ったのですが、家内はその光景を見てたいへん驚いて、心の中で「これが本当に聖霊様の働きならば、私にも教えてください。」と祈ったらしいのです。すると家内の体が5メートルくらい吹っ飛んで、激しく祈っている人たちの輪の中にドンと投げ込まれて、一番激しく祈り始めました。私はさらにびっくりしました。その夜は、自分が祈っていると言うより、祈らされているというか、神さまのみ思いが溢れ出るような体験でした。私は理工系なので、論理的に考える性格で不信仰でした。しかしそんな私にも火がついてしまった感じでした。その日から甲子園ミッションのために、私も真剣に働くようになりました。聖霊の働きはひとりでに拡がって行きました。最初8人で始まった聖霊の働きは、翌週の日曜日には100人近くにまで拡大していました。そこから全日本に拡がっていった感じでした。

小山／何か先生の思いの中で、聖霊が降られた背景として、きっかけというか、何か思われるところありますか?

滝元／このように語ると、私たちが熱心に祈っていたから聖霊が注がれたとか、リバイバルミッションがリバイバル運動を始めたから、特別、神に選ばれたように誤解されがちですが、決してそうではないということです。日本にはリバイバルの火種はすでにあったと言うことです。歴史を振り返ると、それがよく分かります。ご存知のように、日本のプロテスタント宣教の歴史は、幕末から明治にかけて、最初の宣教師と言われるジェームス･バラから始まりました。彼が日本に来て、まず最初に何をしたのかというと、横浜で青年たちを集めて、祈祷会を始めました。すると聖霊が注がれたのです。そこに、愛知県から来た2人の青年が参加していました。彼らも聖霊を受けて「自分たちの故郷に福音を!」という思いで、愛知県に戻ったそうです。愛知県は徳川家の膝元で、すごく保守的なところです。キリシタン弾圧も強くて、たいへん難しい土地柄なのですが、彼らは、バラ宣教師を自分たちの故郷に招いて集会を行ったら、物珍しさもあってか大勢集まって、結果的に、リバイバルが起こったと言うのです。それでバラが「日本にリバイバルが起きた」という手紙を本国に送ったそうですが、それが日本において「リバイバル」という言葉が使われた最初であったそうです。その後、その村には教会ができ、村人が礼拝するようになりました。その場所が何処かというと、現在、愛知県北設楽郡設楽町津具という場所です。当時は「津具村」と呼ばれていた、だれも知らないような山村でした。その村には、初代牧師、村井與三吉の顕彰碑が村人によって建立されています。石碑の書を書いたのは、賀川豊彦でした。しかしその後、国家神道が拡大し、教会は迫害され、昭和四年、牧師が亡くなった事により教会は閉鎖され、村のリバイバルの火も、いつしか消えて行きました。しかし同年、この村に一人の赤ん坊が誕生するのです。それが誰かというと、私の父「滝元明」でした。津具村でリバイバルが起こった時、村はキリスト教賛成派と反対派に真っ二つに分かれたそうです。当時、滝元家は反対派でした。父は、戦後、東京に行って救われて、聖霊の火を受けて津具村に帰って宣教を開始し、やがてリバイバル運動を始めたのです。そこに神の偉大な摂理を感じます。このように振り返ると、明治時代につけられた聖霊の火が、甲子園ミッションを通して、再燃したのだと思います。本当に不思議です。神は決して敗北しない!と言うことですね。日本のリバイバルは必ず将来、実現すると信じています。

小山／世代を超えて祈り続けられてきた。それが大きかったですね。聖霊の火は絶えたように見えても、消えていないのですね。その石碑に揮毫された賀川豊彦は「聖書は祈りの歴史であり、祈りが答えられた記録である」と言われましたね。まさしく祈る者たちの歴史、HISストーリーですね。

滝元／リバイバルに反対していた家族の中から、リバイバリストが引き出されたのは、勝利の象徴だと思います。いくら反対していても、私のように不信仰な者でも、聖霊が注がれると変えられます。

小山／具体的に聖霊に触れられて、霊的ムーブメントというか、甲子園ミッションに向けての準備が、祈りの勇士祈祷や決起集会で各地で広げられていった訳ですけれど、聖霊体験の後、先生御自身はどのように変わられたのですか?

滝元／結果的に、最も大きく変えられたのは、宣教に対する自分自身の理解でした。コリント人への手紙第Ⅱの4章3-4節にも記されているように、“福音に覆いが掛かっている。”それはこの世の神が原因している、光を届けたかったら、まず覆いを取らないといけない、という事に気づかされました。日本にはすでに、文化とか習慣、歴史の中に福音から遠ざける覆いが仕掛けられている事に気づかされました。それが最も大きな私にとっての変化でした。リバイバルを閉ざしているのが、悪魔とその子分たちの仕業ならば、まずは霊的戦いをしなければいけないと、具体的に知らされ、霊的戦いが始まりました。甲子園ミッションは、最初、甲子園球場で毎晩6万人を集めて伝道集会をやりましょう、みたいな趣旨で始まったのですが、いつしかそれは、リバイバル運動へと変わり、リバイバルのためには霊的戦いが必要だと言うようになりました。先日、日本伝道会議が岐阜で行われましたが、1991年に第3回日本伝道会議が、那須･塩原で行われました。ここで中心的に取り扱われたのが「霊的戦い」でした。日本の宣教は、霊的戦いなしには達成し得ないという、塩原宣言が採択されたのです。91年の日本伝道会議において、日本教会のコンセンサスとして”日本において霊的戦いを開始する”というスイッチがONにされ、日本教会全体としてゴーサインが出された年でした。そしてその翌年、甲子園ミッション準備中に聖霊が注がれ、霊的戦いが始まったのは、日本全体のリバイバルとして、主ご自身が火蓋が切られたのだと信じています。日本宣教史の中、塩原宣言は霊的戦いにおいて、教会全体を代表する、重要な宣言であったと理解しています。「霊的戦い」は、リバイバルミッション単独のものはなくて、神が日本全体に対する戦いとして始められたのです。遡れば、ジェームス･バラが日本に来て宣教を開始し、少数の若者に聖霊が注がれてたところから、すでに日本を取り戻すための働きは始まっていたと言うことです。

小山／積み重ねられた祈りと共に、霊的要因が取り除かれて行く時、人々の心が開かれて、リバイバルが起こっていく。本当に、その通りだなと思いました。

※ニュース紙面の都合上、抜粋した形での内容をお届け致しました。インタビューの全編をリバイバルミッションYouTubeチャンネルにてご視聴頂けます。ぜひご覧下さい。

リバイバルミッション YouTube

日本にリバイバルを！

日本の救いのために燃やされ、遣わされていくために主を求めて祈るリバイバル聖会

全日本リバイバル甲子園ミッション｜30周年記念集会

11月11日［土］13:00～16:00

会場／活けるキリスト一麦西宮教会 兵庫県西宮市樋ノ口町2丁目20-38

音楽ゲスト／ベアンテ・ボーマン、ルリ子夫妻［チェロ&ピアノ］**・Duo B→Z**［ヴァイオリン&ピアノ］

メッセージ／平岡修治・滝元順

定員／250名◉入場無料｜席上献金あり

おもなプログラム◉

プレイズタイム1
ごあいさつ／下條末紀子師
甲子園ミッションの証し
祈り／瀧元望
特別賛美／ベアンテ・ボーマン、ルリ子夫妻
メッセージ／平岡修治
プレイズタイム2／すりだぶ
特別賛美／Duo B→Z
メッセージ／滝元順

緊急告知!!
11月11日朝7:00
甲子園球場正面(8号門前)集合!!
甲子園祈祷会

◉お申し込み方法／参加登録方法

今すぐお申し込みを！

①E-メール
氏名・教会名・連絡先・送迎バス必要の有無(希望の場合①or②)を明記の上revivalmisiion.event@gmail.comまで

②電話・Fax
氏名・教会名・連絡先・送迎バス必要の有無(希望の場合①or②)を電話もしくはファックスでお伝え下さい。Tel.0536-23-6712 Fax.0536-23-6220

③QRコード・ホームページ
下記のQRコードから▼
またホームページからもお申し込みできます。

霊的戦い専門課程第12期Vol.3

Expose The Strategy
Spiritual Warfare Special Course
SINCE 2012

ハイブリッド開催

11月20日［月］—21日［火］

講　師／滝元順、鈴木陽介 他

受講料／8,800円1回10セッション(内消費税800円)

年間受講料／79,200円10回100セッション(内消費税7,200円)

※配信開始予定12月4日～※配信は12期終了2024年9月末まで視聴可能

リバイバルミッションセンターで対面で受講できます。

宿泊・食事代(1泊2食・朝軽食付)5,500円(内消費税500円)

※会場での受講者も配信を視聴することができます。

◉スケジュール

11月20日［月］
13:30～受付
14:00～15:30セッション①②
15:40～17:10セッション③④
17:30～夕食
19:00～20:30研究発表・交わり

11月21日［火］
9:00～10:30セッション⑤⑥
10:40～12:10セッション⑦⑧
12:10～昼食
13:00～14:30セッション⑨⑩

戦略的とりなしと調査専門課程 12月

ハイブリッド開催

12月2日［土］10:00—16:15

受講料／5,500円(内消費税500円)全3セッション **講師／瀧元望ほか**

参加方法
①会場での参加
②Zoom参加(顔出しなし、視聴のみの参加も可能)
③後日ビデオ配信視聴での参加

スケジュール
セッション❶10:00~11:30
昼食(会場参加者のみ600円別途必要)
セッション❷13:00~14:30
セッション❸14:45~16:15

会 場
リバイバルミッションセンター
※①会場での参加は、先着10名様までとさせていただきます。
お申し込み締め切り→11月27日［月］

新春リバイバル聖会 2024 1/6 sat

新年のスタートはひたすら主を求めて！新春リバイバル聖会

2024年1月6日［土］13:00～16:00

会場／お茶の水クリスチャンセンター6階チャペル(JR御茶ノ水駅すぐ)
講師／小山健(岐阜純福音教会主任牧師)**、有賀喜一、他**
※詳細は来月号にて、

11 Revival Mission Calendar November

1wed		
2the	Go To ミッション @九州地区	
3fri		
4sat	ZWSオンライン	
5sun		
6mon	Zoom de F ワカモノ	
7tue		
8wed	Zawameki@ハワイ	
9thu	Pray for Revival	
10fri		
11sat	甲子園30周年記念集会	
12sun		
13mon		
14tue	Zoom de F 韓国語	
15wed		
16thu		
17fri		
18sat	WWW ZWS東京	
19sun		
20mon	霊的戦い専門課程Vol.3	
21tue		
22wed	Go To ミッション @沖縄地区	
23thu		
24fri		
25sat		
26sun		
27mon		
28tue	Zoom de F 神学校OB	
29wed		
30thu		

GoTo ミッション 2023

GoToミッションをあなたの教会でも開催ください!!

11月開催

九州地区 11月2日—5日

メッセンジャー／平岡修治◉音楽ゲスト／中村匡

11月2日[木] 19:30〜
大牟田バプテスト教会(福岡)

11月3日[金・祝] 14:00〜
高森キリスト教会(熊本)

11月4日[土] 14:00〜
本渡基督教会(熊本)

11月5日[日] 10:30〜
福岡聖書キリスト教会(福岡)

11月5日[日] 15:00〜
カリスチャペル福岡(福岡)

※会場のお近くにお住まいの方は、
ぜひとも新しいお友達をお誘い下さり、お出かけ下さい。
そして各集会の祝福をお祈りいただければ幸いです。

沖縄地区 11月22日—26日

メッセンジャー／平岡修治◉音楽ゲスト／安武玄晃

11月22日[水] 20:00〜
ジョイチャペル

11月23日[木・祝]
胡屋バプテスト教会

11月24日[金] 19:30〜
泡瀬バプテスト教会

11月25日[土]
サレム宮里教会

11月26日[日] 10:30〜
名護ベテル教会

11月26日[日] 15:30〜
屋宜原家の教会

2024年も伝道に邁進します!

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、
5類に引き下げられ、イベントの収容人数の上限規制の撤廃や、
声出し応援なども解禁となり、
マスク着用も個人の判断に委ねられるようになりました。
今、直に音楽、聖書に触れる機会を本当に多くの方が求めています。
しかし3年の間、感染予防という名の元に教会は提供せずに、
いや拒んできたのかもしれません。伝道集会は難しい、
教会に人を集めるのは困難な状態という暗闇の囁きに惑わされず、
今こそ色づいている畑に目を向けようではありませんか。

◉上半期スケジュール

1月24日[水]—28日[日]関東地区
2月7日[水]—12日[月・祝]関西地区
2月21日[水]—25日[日]中国地区
3月6日[水]—10日[日]沖縄地区
3月20日[水・祝]—24日[日]中部地区
4月3日[水]—7日[日]東北地区
4月17日[水]—21日[日]甲信越地区
5月15日[水]—19日[日]九州地区
5月22日[水]—26日[日]四国地区
6月5日[水]—9日[日]北海道地区
6月19日[水]—23日[日]北陸地区

・ゲスト講師はお問合せください。

◉お問合せ・お申し込み
リバイバルミッション事務局まで
0120-291-372
office@j-revival.com

Wakamono Worship Wave

11/18(土) 19:00〜
at 新城・リバイバルミッションセンター

「ワカモノのギモン〜クリスチャンって何?〜」

初心者クリスチャンや求道者の素朴な疑問に答える企画を計画中です!
みなさんの疑問も募集しています!→suridabu.rm@gmail.com
配信と会場でのハイブリッド開催です。

前回のすりだぶ | Vol.30「楽しく生きる」

北海道・愛隣チャペルと初コラボ!ZOOMで繋いで共に遊び共に喜び楽しい時をもちました。メッセージは同教会牧師の内越努先生より楽しく生きることを語っていただきました。恵みある集会の時が持てたことを感謝します。

すりだぶミニアルバム完成!

10/21より販売! ¥1,500

Pray for Revival 11月配信集会 YouTube

全日本リバイバル甲子園ミッションから30年。
主に感謝、主に栄光!そして、リバイバルへ向かって前進!祈り、賛美しよう!
主は大いなる方。大いにほめたたえるべき方。その聖なる山、われらの神の都において。[詩篇48篇1節]

11/9(木) 朝10時〜11時30分

メッセンジャー／上條実(サーバントチーム)
特別賛美と証し／中村裕二、智恵子夫妻
(ハワイ・ホノルル／家の教会セラ・プレイズ牧師)

祈りの課題がある方は、(個人、教会)
以下のメールアドレスまで祈りの課題をお寄せ下さい。
集会の祈りの中で、皆で共有し祈ります。
revivalmission.pray@gmail.com

11月のZoom de フェロシップ

ぜひご興味のあるフェロシップにご参加下さい!

ワカモノトークルーム
11月6日[月]20:00〜
◉MC
杉浦美紀、瀧元栄主、田中咲

韓国語
11月14日[火]20:00〜
◉講師
チェ・ヨンドゥ

神学校OB ゲストは横尾恵美ダーンさん
11月28日[火]20:00〜
◉司会進行
田中進、平岡新人

◉会計報告2023年8月度

いつもリバイバルミッションのためにお祈りご支援くださり、心から感謝いたします。経済的にはお伝えしていましように、事務所の空調の修繕費が計上されていますので、大きくマイナスの報告となっています。そのためにもかなり自転車操業のような状態ではありますが、ショートすることなく活動がゆるされていることを感謝します。今年のGo To ミッションもあと九州地区、沖縄地区を残すのみとなりました。福音をまっているたましいに届けることができるように、引き続き皆様のお祈りとご支援を何卒よろしくお願いします。

◉献金送付先
三菱UFJ銀行／名古屋営業部 普通 2569313
ゆうちょ銀行／振替口座 00860-0-33814
クレジットカードによる献金 http://j-revival.com/rm/card/

収入		支出	
前月繰越金	-3,229,288		
一般献金	1,067,377	事務運営管理費	1,294,443
集会献金・参加費	86,204	一般旅費交通費	34,069
国内宣教指定	212,700	通信費	410,208
世界宣教指定	2,700	印刷費	193,952
霊的戦い部門指定	371,000	国内宣教諸経費	468,530
ざわめき指定	303,074	集会諸経費	80,215
		霊的戦い諸経費	33,410
		ざわめき諸経費	494,715
		空調修繕費	847,000
		銀行借入返済	349,956
収入合計	2,043,055	支出合計	4,206,498
		次月ミッション繰越金	-5,392,731

Revival Mission リバイバルミッション
フリーダイヤル 0120-291-372
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220
office@j-revival.com
URL: http://www.j-revival.com

※次回12月号のニュースは11月19日(日)発行予定です。

リバイバルミッション情報

祈りのLINE登録してお祈りください!

リバイバルミッションのホットな情報と祈りのリクエスト、集会の様子などを配信します!
◎友達登録方法・・・「友達追加」からQRコードリーダーにてQRコードを読み込んで登録

それぞれフォロー、登録して下さい。
Facebook、Instagram、X、YouTubeのアカウントがあります。